

2020年度

ニコニコ桜だより9月号

<http://www.2525sakura.com/>

幼保連携型認定こども園

ニコニコ桜保育園 南郷町8-12

ニコニコ桜今津灯保育園 今津水波町9-8

ひっそり隠れる
アゲハです

誰が食べたのか

からだいっぱい1の好奇心

保育園は0歳児から5歳児、就学前までの6年間の子どもたちが、長時間生活し暮らし遊ぶ所です。同じ年齢の子ども達と衣食を共にし関わり合って遊び、年齢の違う子ども達とも過ごします。年上児が遊んでいる様子は小さな子ども達には魅力的、日々大きな刺激です。同じ場にいるだけで様々な状況が自然と取り込まれ、使いたい物、やってみたい事になっていきます。年上の子ども達も作った物で、小さな子ども達をぐっこ遊びに招いてくれたりもします。

年上のこども達が遊ぶ様子は、どんな事も小さな子ども達には魅力的、興味津々、手に取って触ったり見たりしたいもの。また年長児にとっては考え工夫して遊んだり作れた大事な物。園ではそれぞれの思いを組み取りながら、互いの行為や気持ちを大切にできる仲立ちの言葉をかけたいと努めています。すごいね、〇〇考えたんだね見せてくれてありがとう。お迎えのお母さんにも教えてあげてね、等々。

公園や子育て広場等々、子育て中の親子の出会いの場がありますが、玩具を巡ってわが子が他の子ども達に手を伸ばし思わずダメコール!!や、近寄ってきた小さな子ども達に貸してあげなさい!!とわが子を制する場面に陥ってしまったり...そんな時【お兄ちゃんのだから、触らない】や【お兄ちゃんだから貸してあげてね】でなく☑お互いの気づきに出会える場になると、子ども達もどんなに嬉しいでしょう!!

「見せてもらってもいいですか?すごいねー」等、夫々の温かさや優しさを感じ合える機会になれば、子どもたちはもちろんお母さん自身も知り合うチャンス、みんなに嬉しい出来事です。



《布で遊んでみよう》

布1枚もこどもにとっては魅力的な遊び道具。お気に入りのおもちゃやおままごとのお弁当を包む風呂敷になったり、頭巾にしたり腰に巻いておしゃれなスカートにも早変わり。保育園の子どもたちも、毎日のように“これ包んで”“ここに巻いて”と保育士に巻いてもらいその気になって遊びがさらにたのしくなるようです。

小さなお友だちは布を使ったわらべ歌も大好きですよ。ここではそんなうたを紹介しますね

“こい こい こい おおかせ こい
うえから したから おおかせこい
こい こい こい”

うたに合わせてお子さんの顔の前で、布をひらひら揺らしてください。“こい”でお子さんのお顔の上に布をひらひら... (お顔が隠れてびっくりしてしまう小さなお子さんにはオーガンジーのような薄い布だといいですね) ...ばあ!とかぶせた布をはがすと子どもたちもいっしょにばあ!お母さんがいろんな表情をしてみせると より楽しいですよ。

あそびの小箱



砂・水・葉っぱ・虫
どんなものでも興味津々
見て感じて触ってやってみる



旬の食材・保育園では

旬の野菜 食べ物

里芋・しめじ・青梗菜・ごま・椎茸・無花果・舞茸
カボス・梨・ブドウ・鱒・鯉・鮭・



ゴーヤのかき揚げ

秋ナスと鮭の揚げびたし



キノコのシチュー



保育園ではプランターや畑で育ててきたゴーヤや茄子、枝豆、ブルーベリー・胡瓜・ピーマン等がまだまだたくさん収穫されています。子どもたちには少し苦いゴーヤもフライやかき揚げに。キュウリや茄子は塩麹和えに、ピーマンはおかか炒めに、等にして献立に加えています。子どもたちが水をやり、毎日大きくなったかな?と手に取って期待して来たものばかりなので、目で見て味わって確かめ、【今日の給食 献立会議】をやりとりしながら喜んで食べています。保育園に入る前は苦手だった野菜も、今では味わい深いものになっているようです。

ちいさなおともだちへ

松岡 達英 作
福音館書店



近年都会には、私たち住居の傍に草原や野原、また囲われていない空き地に草があったり、自由に駆け回れる場所等は、ほぼ、見つけることができません。建物が取り壊されて次に家屋が建てられるまでのわずかな間も、足を踏み入れることができないよう管理される、それはリスク管理上当然のことなのですが。網をもってトンボを追いかける空間も、どんなに駆け回っても友達にぶつかる心配がない原っぱも、静かに静かに足音を忍ばせて近寄り、草の間に潜むバッタを捕まえた原っぱも、残念ながら身近な場所にはみあたらなくなっています。

この絵本は、そんな野原や原っぱが、どんな驚きと発見を伴って、子どもたちのかけがえのない体験になるかを、草原に踏み出す足元に焦点を当てて描かれます。もしも少しの、自由にできる地面があればそこは鳥や風によって運ばれた種が根付き、四季折々に植物や虫たちの多様な生命が息づく場になります。私達が生まれながら持っているであろう好奇心は、公園の一角の、街の一角の少しの草地に出会うことできっかけとなり、更に新しい世界へと広がります。道路脇にも小さな雑草や虫の世界があります、ぜひ足を止めて子どもたちと共に《出会い発見》を楽しんでほしい...と願ってしまう1冊です。

☆ニコニコ桜と今津灯保育園の子どもたちが、大好きな絵本の紹介をします☆